

第6回 福岡ライフセービング選手権大会

実施報告書



2024年6月23日

特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

■大会概要

大会名称：第6回福岡ライフセービング選手権大会 【略称：福岡大会2024】

会 場：シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

開催日程：2024年6月23日（日）

主 催：特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

後 援：福岡県、福岡市

協 力：(公財)日本ライフセービング協会、九州産業大学ライフセービングクラブ、(特非)新宮ライフセービングクラブ、福岡ライフセービングクラブ、福岡大学ライフセービングクラブ、福間サンセットショアライフセービングクラブ、博多サーフラライフセービングクラブ、宗像ライフセービングクラブ

この大会は2019年に第1回を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小開催となる年もあったが、本年で第6回を迎えた。

本大会は、(公財)日本ライフセービング協会（以下、JLA）B種認定競技会として、福岡県内はもとより福岡県近郊のライフセービング競技、ライフセービング全般の発展と福岡県内外ライフセーバー交流を目指して開催された。

将来的な自立運営を意識した運営とし、テクニカルオフィシャル、安全オフィシャル、運営スタッフそれぞれにおいて、第6回を迎えて自立運営に向けて大きく近づけた。選手は72名のエントリーがあり、選手・オフィシャル・スタッフ合計87名に加えて、関係者に加えて、通行人などが足を止めてなどの多数のご観戦をいただけた。

また、JLAから競技安全委員会2名、競技審判委員会1名によるご指導を賜り、準備段階のアドバイスから前日準備と当日の運営や片付け・メンテナンスなど手厚いサポートを受けられ、将来的な自立運営と、安全かつスムーズな大会運営につながった。

さらに大会前日には、C級審判員養成講習会を開催して17名の新たな審判員が誕生し、競技会安全課研修会を開催して23名が安全オフィシャルについて学び、会場設営時にテクニカルオフィシャル、安全オフィシャルの知識・技術拡大を図り、ライフセービング競技の発展と知識・技術伝承の機会となった。

また、福岡スバル株様から貸与されたSUBARU ライフセーバーカーの展示も行われ、この夏に活躍するSUBARU ライフセーバーカーのお披露目も行われた。

■スケジュール

6月22日(土)

時間	内容	場所
9:00-17:00	C級審判員養成講習会	ももちパレス・福岡県立ももち文化センター（福岡市早良区）
9:30-12:00	競技会安全課研修会	ももちパレス・福岡県立ももち文化センター（福岡市早良区）
13:00-17:00	会場設営	シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡市早良区）

6月23日(日)

開始	種目
7:00	安全オフィシャル集合
8:00	テクニカルオフィシャル・運営スタッフ集合
8:30	代表者会議
9:00	開会式
9:10	ボードレース(男子)【予選】
9:40	ビーチフラッグス(男子)【第1予選】
10:15	サーフレース(男子)(女子)【決勝】
10:40	ビーチスプリント(男子)【予選】
11:00	荒天により一時休止
12:30	ボードレース(女子)(男子)【決勝】
12:50	ビーチスプリント(男子)【決勝】
13:10	ボードリレー【決勝】
13:35	3×1kmビーチランリレー【決勝】
14:20	レスキューチューブレスキュー【決勝】
14:30	ビーチフラッグス(女子)【決勝】
14:50	閉会式

潮汐：中潮 満潮 10:04 干潮 16:52 (博多)

※ 一時荒天により

- ・ビーチフラッグス(男子)：第2予選・決勝
- ・ビーチスプリント(女子)：決勝
- ・ボードレスキュー(男女混合)：決勝

を中止し、実施スケジュールを変更した。

■大会役員・競技運営役員

●大会役員				
大会会長	田原 幸佑	県協会理事長		
大会副会長	鈴木 裕介	県協会副理事長		
大会役員	谷川 晃子	県協会理事		
	中山 省悟	県協会理事		
	藤本 航軌	県協会理事		
●競技運営審判				
チーフレフリー	栗栖 清浩	JLA競技審判委員会		
デビュティー チーフレフリー	大北 奈々恵	県協会競技運営委員会委員長		
ヘッドスコアラー	○田原 幸佑			
スターター・チェック スターター	○中村 心春	青木 直	峰松 智弘	米倉 康平
マーシャル	○松島 佑歩	津曲 優太郎	田中 韶	西村 流碧
	加藤 空流	鈴木 裕介		
コースジャッジ (ビデオ記録員含)	○川本 燿介	久篠 美佳	山尾 拓樹	鶴田 将斗
	村中 伶璃	山本 三奈		
フィニッシュジャッジ	○江里口 太陽	中川 あや	藤本 力	渡邊 玄太
	大住 菜々海			
ビデオ審判員	○松田 啓吾	江村 公汰	迫 直人	木村 慎吾
レコーダー	○福園 琉真	岩武 太郎	岡本 一汰	山浦 拓斗
IRBジャッジ	○長野 翼	上野 義洋		
審判指導	栗栖 清浩	JLA競技審判委員会		
IRBジャッジ指導	上野 義洋	JLA競技安全委員会		
●総務				
安全オフィシャル	○芹澤 良介	古井 悠太	中山 省悟	三宅 孝幸
	石橋 知大	山田 博之	佐藤 総志	永山 翔斗
	田上 悠人	三村 碧	磯崎 佑太郎	西瀬 悠人
	野原 秀峰			
安全オフィシャル 指導	○江川 陽介	JLA 競技安全委員会		
	上野 義洋	JLA 競技安全委員会		
	橋本 和樹	西浜 SLSC・博多 SLSC		
MC	法元 健			
事務局	○田原 幸佑			
オフィシャルカメラ	白垣 真由美	福岡 LSC		

※ 下線は兼選手。○は各セクションリーダー。

■大会会場



大会会場であるシーサイドももち海浜公園は、福岡タワー、福岡市博物館、福岡PayPayドームなど、福岡のシンボルが集まる市街地西部のシーサイドエリアとなる。天神からバスで約15分と、都心からすぐにアクセスできるリフレッシュエリアとしても大人気である。また、親子連れでもカップルでも、みんなで楽しめるスポットが満載である。

シーサイドももち海浜公園・百道浜地区の海辺であり、福岡タワーの北側に広がっているその砂浜の中央（マリゾン）には、レストランや結婚式場、マリンスポーツショップなどがあり、都会的な賑わいのある、おしゃれなビーチである。夏は、海や砂浜を楽しむ人が多く訪れ、また、ビーチバレー、ビーチサッカー、タッチラグビーなどのビーチスポーツのメッカとしても良く利用されている。

また、福岡タワーなど福岡観光の人気スポットでもあることから、諸外国からの観光客も多く押し寄せ、シーサイドももちにも多くの諸外国の観光客が足を運んでいる。

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区では、2017年からライフセーバーによる夏季パトロールが開始され、海を楽しむ人の安全を守っている。また、2017年から2019年には、国内唯一の国際大会であった「三洋物産インターナショナルライフセービングカップ」が開催された。

■参加者

- ・C級審判員養成講習会
講師：1名、受講者：17名
- ・競技会安全課研修会
講師：2名、受講者：23名
- ・会場設営
参加者：35名
- ・大会当日
選手：7チーム68名

都道府県	所属	人数
大阪府	大阪ライフセービングクラブ	1
大分県	大分市ライフセービングクラブ	10
福岡県	福岡大学ライフセービングクラブ	28
岡山県	岡山ライフセービングクラブ赤十字奉仕団	4
福岡県	新宮ライフセービングクラブ	6
福岡県	博多サーフライフセービングクラブ	6
福岡県	九州産業大学ライフセービングクラブ	13

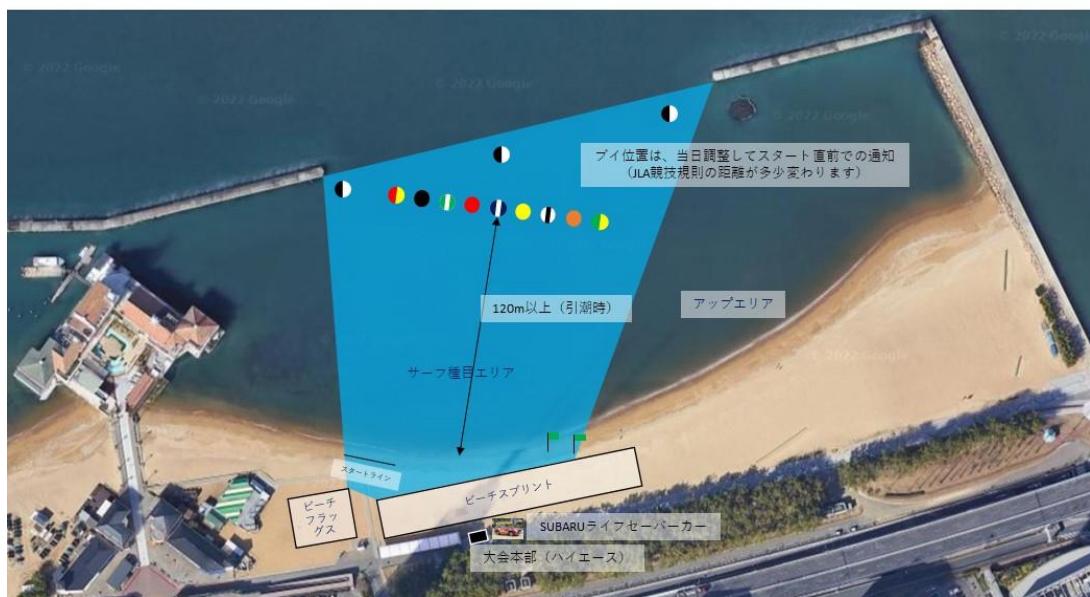
安全オフィシャル：16名(うち選手兼務：9名、安全課指導：3名)

テクニカルオフィシャル：33名(うち選手兼務：25名、審判員指導：1名)

運営スタッフ：1名

■会場図

第6回福岡ライフセービング選手権大会2024 レイアウト



■競技結果

チーム総合【総合成績】

順位	チーム	個人種目	チーム種目	総合
1	福岡大学ライフセービングクラブ	45	27	72
2	新宮ライフセービングクラブ	31	18	49
3	大分市ライフセービングクラブ	14	16	30
4	九州産業大学ライフセービングクラブ	8	11	19
5	岡山ライフセービングクラブ赤十字奉仕団	7	3	10
6	博多サーフライフセービングクラブ	0	5	5
7	大阪ライフセービングクラブ	0	0	0

個人種目

サーフレース（女子）

- 1位：中村 心春（福岡大学LSC）
- 2位：園田 煌梨（福岡大学LSC）
- 3位：平出 秋（福岡大学LSC）
- 4位：大住 菜々海（福岡大学LSC）

サーフレース（男子）

- 1位：江里口 太陽（福岡大学LSC）
- 2位：三宅 孝幸（岡山LSC赤十字奉仕団）
- 3位：金納 大士（岡山LSC赤十字奉仕団）
- 4位：山浦 拓斗（福岡大学LSC）
- 5位：古川 雅貴（福岡大学LSC）
- 6位：吉武 和真（新宮LSC）
- 7位：大場 爽太（福岡大学LSC）
- 8位：小谷 陸（福岡大学LSC）

ボードレース（女子）

- 1位：平出 秋（福岡大学LSC）
- 2位：山本 三奈（新宮LSC）
- 3位：大住 菜々海（福岡大学LSC）
- 4位：中村 心春（福岡大学LSC）

ボードレース（男子）

- 1位：米倉 康平（福岡大学LSC）
- 2位：藤本 力（福岡大学LSC）
- 3位：佐藤 雄太（新宮LSC）
- 4位：大場 爽太（福岡大学LSC）
- 5位：衛藤 遼（大分市LSC）

6位：三浦 来輝 (大分市LSC)
7位：森 裕陽 (福岡大学LSC)
8位：山崎 雄大 (福岡大学LSC)

ビーチフラッグス（女子）

1位：山本 三奈 (新宮LSC)
2位：平出 秋 (福岡大学LSC)
3位：笠原 凜音 (大分市LSC)
4位：首藤 麻美香 (大分市LSC)

ビーチフラッグス（男子）

荒天により中止【第2予選・決勝】

ビーチスプリント（女子）

荒天により中止【決勝】

ビーチスプリント（男子）

1位：松島 佑歩 (九州産業大学LSC)
2位：石橋 知大 (新宮LSC)
3位：久保田 翔栄 (福岡大学LSC)
4位：田上 悠人 (福岡大学LSC)
5位：齋藤 裕 (大分市LSC)
6位：山尾 拓樹 (福岡大学LSC)
7位：津曲 優太郎 (九州産業大学LSC)
8位：岡本 一汰 (福岡大学LSC)

チーム種目

レスキューチュープレスキュー

1位：福岡大学ライフセービングクラブB
2位：新宮ライフセービングクラブ
3位：福岡大学ライフセービングクラブA
4位：大分市ライフセービングクラブB
5位：大分市ライフセービングクラブA
失格：九州産業大学ライフセービングクラブ

ボーダリレー

1位：福岡大学ライフセービングクラブA
2位：大分市ライフセービングクラブA
3位：福岡大学ライフセービングクラブB
4位：新宮ライフセービングクラブ
5位：博多サーフライフセービングクラブ
6位：九州産業大学ライフセービングクラブ
7位：岡山ライフセービングクラブ赤十字奉仕団

8位：大分市ライフセービングクラブB
3×1kmビーチランリレー
1位：福岡大学ライフセービングクラブ
2位：九州産業大学ライフセービングクラブA
3位：新宮ライフセービングクラブ
4位：九州産業大学ライフセービングクラブB
5位：大分市ライフセービングクラブ
ボードレスキー
荒天により中止【決勝】

■写真

C級審判員養成講習会（大会前日）



安全課研修（大会前日）



会場設営（大会前日）



ボードレース



ビーチフラッグス



サーフレース



ビーチスプリント



レスキューチューブレスキュー



ボードリレー



3×1kmビーチランリレー



安全オフィシャル



テクニカルオフィシャル



開会式・閉会式



SUBARUライフセーバーカー



■過去の実績

第5回（2023.6.4(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

第4回（2022.6.12(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

第3回（コロナ禍により延期→開催中止）

開催中止

第2回（コロナ禍により延期→2020.9.20(日)縮小開催）

新宮海岸（福岡県糟屋郡新宮町）

第1回（2019.5.12(日)開催）

シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区（福岡県福岡市早良区）

以上